

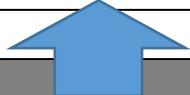
【美術科のグランドデザイン】



何ができるようになるか ○各教科等で育成する資質・能力	何が身に付いたか ○各教科等の学習評価
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができる。 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 造形的に視点について理解し、表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができる。 主題を生み出し、発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。 美術の創造活動の喜びを味わい、感性を豊かにし、美術に親しもうとしている。

子供たちの実態	子供たちの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子供への指導	目指す子供たちの姿
<ul style="list-style-type: none"> 真面目な生徒が多く、授業に意欲的に取り組むことができる。試行錯誤しながら表現方法を工夫することができるが、主題を生み出すことが苦手な生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> chromebook や ICT を活用した資料の提示や収集。 題材を通して何を学ぶかを明確にし、見通しをもって活動に取り組めるように、板書やワークシートを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 主題を生み出し、造形的な視点を理解して、表現方法を創意工夫できる生徒。 美術の造形活動の喜びを味わい、美術や美術文化について理解を深めようとする生徒。

何を学ぶか ○各教科等の教育課程の編成	どのように学ぶか ○各教科等の授業の実施
<ul style="list-style-type: none"> 造形や美術と主体的に関わり、生徒が自ら課題を決め、答えを求めて取り組む喜びを味わい、創造的な表現を工夫できるようにすること。 主体的に鑑賞の授業に取り組み、作品の見方や感じ方を身に付け、見方や感じ方を広げたり、深めたりできるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入やワークシートの記述を精選し、題材で何を学ぶかを明確にする。 個別指導や制作の時間を十分に取、試行錯誤しながら主体的に創造活動をおこなう。 参考作品の提示や仲間の活動の様子を参考に時間を設ける。



実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働
<ul style="list-style-type: none"> 都中美や市教育研究会の研修や情報交換を通し指導力の向上、教材研究に努める。 ICT機器の活用
各教科等の特質に応じた「見方・考え方」
<ul style="list-style-type: none"> 良さや美しさなどの価値や心情などを感じ取る力である感性や、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと。